

令和8年度

「運営に関する計画」

大阪市立中野小学校

令和8年4月

大阪市立中野小学校 令和8年度 運営に関する計画・自己評価（総括シート）

1 学校運営の中期目標

現状と課題

○学級活動を3年研究し、令和4年度より特別活動と枠を広げ、児童会活動・クラブ活動・学校行事も加えて研究を進めてきたことにより、よりよい学級づくりだけでなくよりよい学校づくりをめざして自ら考え行動する児童を育てている。「自分たちで中野小学校をよりよくしていく」という気風が受け継がれている。また、高学年のリーダーにあこがれをもち、下学年のフォロワーシップも育ってきている。

○学級活動で学んだ話型を基本としてどの学習でも「話す・聞く」ことの態度を育てることに重点を置いて指導し、話しやすい学級集団作りを心がけている。その結果、小グループでは話し合うことはできるようになっているが、全体の場では、進んで自分の意見を表現することが苦手な児童もいるのでハンドサインなどを有効に活用している。

○学力面では、大阪市小学校経年調査の年度目標を全学年達成することができなかったが標準化得点にどの学年もほぼ近づいている。今年も確実に基礎・基本が定着する手立てと、教員の授業力の向上に向けて取り組んでいく。自主学习についてもいろいろな場面で保護者に伝え、子どもたちの意欲が継続できるよう学校全体で取り組んでいく。また、一人一台端末の活用が80パーセントを超える日が令和7年度の中期目標50%を超えることができた。一昨年までは、少なかったので教員の意識が高まったことと子どもたちとコメント欄を活用して考えを知ることができたのはよかった。

○体力面では、男女ともにどの学年も春よりも記録を伸ばすことができ、5年生も男女とも体力合計点が全国平均を上回った。「スポーツが好き」という回答は、目標を下回ったので体育の授業や運動委員会の取り組みを工夫し、これからも外遊びを推奨し、なわとび・かけ足などを取り組む週間を設けて有効な運動のあり方を模索する。また、体の硬い児童が多いのでストレッチも今年度より加えて取り組んでいく。ゲーム領域では、学級活動で学んだことを生かして、チームでの作戦や運動について話し合い、学び合いができるよう引き続き授業改善を進めていく。

学年内で授業交換するなど学級担任だけでなくチームで子どもたちの学びを支え、担当する教科を減らすことで児童との関わりが持てる時間を増やし、働き甲斐のある職場づくりを推進する。

中期目標

【安全・安心な教育の推進】

基本的な方向1 安全安心な教育の推進

- ① 令和11年度の小学校学力経年調査における「困りごとや、不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談することができますか。」に対して肯定的に回答する児童の割合を70パーセント以上にする。 R7=63.4%
- ② 年度末の校内調査において、不登校児童の割合を前年度より減少させる。
- ③ 年度末の校内調査において、前年度不登校の児童の改善の割合を増加させる。

基本的な方向2 豊かな心の育成

- ④ 令和11年度の小学校学力経年調査における「自分にはよいところがありますか。」に対して肯定的に回答する児童の割合を88パーセント以上にする。 R7=83.6%
- ⑤ 令和11年度の小学校学力経年調査における「いろいろな国や地域の文化や言葉の違いを大切にし、困ったことや問題を解決するなどして、つながりを深めることができますか。」に対して肯定的に回答する児童の割合を87パーセント以上にする。

R7=83.5%

2 中期目標の達成に向けた年度目標

【安全・安心な教育の推進】

基本的な方向 1 安全安心な教育の推進

- ① 令和8年度の小学校学力経年調査における「困りごとや、不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談することができますか。」に対して肯定的に回答する児童の割合を65%以上にする。 $R7=63.4\%$
- ② 年度末の校内調査において、不登校児童の割合を前年度より減少させる。
- ③ 年度末の校内調査において、前年度不登校の児童の改善の割合を増加させる。

基本的な方向 2 豊かな心の育成

- ④ 令和8年度の小学校学力経年調査における「自分にはよいところがありますか。」に対して肯定的に回答する児童の割合を84%以上にする。 $R7=83.6\%$
- ⑤ 令和8年度の小学校学力経年調査における「いろいろな国や地域の文化や言葉の違いを大切に、困ったことや問題を解決するなどして、つながりを深めることができますか。」に対して肯定的に回答する児童の割合を84%以上にする。 $R7=83.5\%$

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

基本的な方向 4 誰一人取り残さない学力の向上

- ⑥ 令和8年度の小学校学力経年調査における国語の学力に課題の見られる（正答率50%以下）児童の割合を、前年度より1ポイント減少させる。 $R7=19.1\%$ $R8=18.1\%$ へ
- ⑦ 令和8年度の小学校学力経年調査における「学級の友だちとの間で話し合う活動を通して、自分の考えを深めたり、新たな考えに気づいたりすることができますか。」に対して肯定的に回答する児童の割合を77%以上にする。 $R7=76.9\%$
- ⑧ 令和8年度の小学校学力経年調査における「理科の勉強は好きですか。」に対して肯定的に回答する児童の割合を87%以上にする。 $R7=86.7\%$
- ⑨ 令和8年度の小学校学力経年調査における「外国語の勉強は好きですか。」に対して肯定的に回答する児童の割合を87%以上にする。 $R7=86\%$

基本的な方向 5 健やかな体の育成

- ⑩ 令和8年度の小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか。」に対して肯定的に回答する児童の割合を85%以上にする。 $R7=83.6$
- ⑪ 新体力テストの上体おこしの記録を全学年、年3回実施し前回よりも記録を上回る。

【学びを支える教育環境の充実】

基本的な方向 6 教育DXの推進

- ⑫ 令和8年度の小学校学力経年調査における「授業で学習用端末をどの程度使用しましたか。」に対して週3回以上と回答する肯定的に回答する児童の割合を50%以上にする。

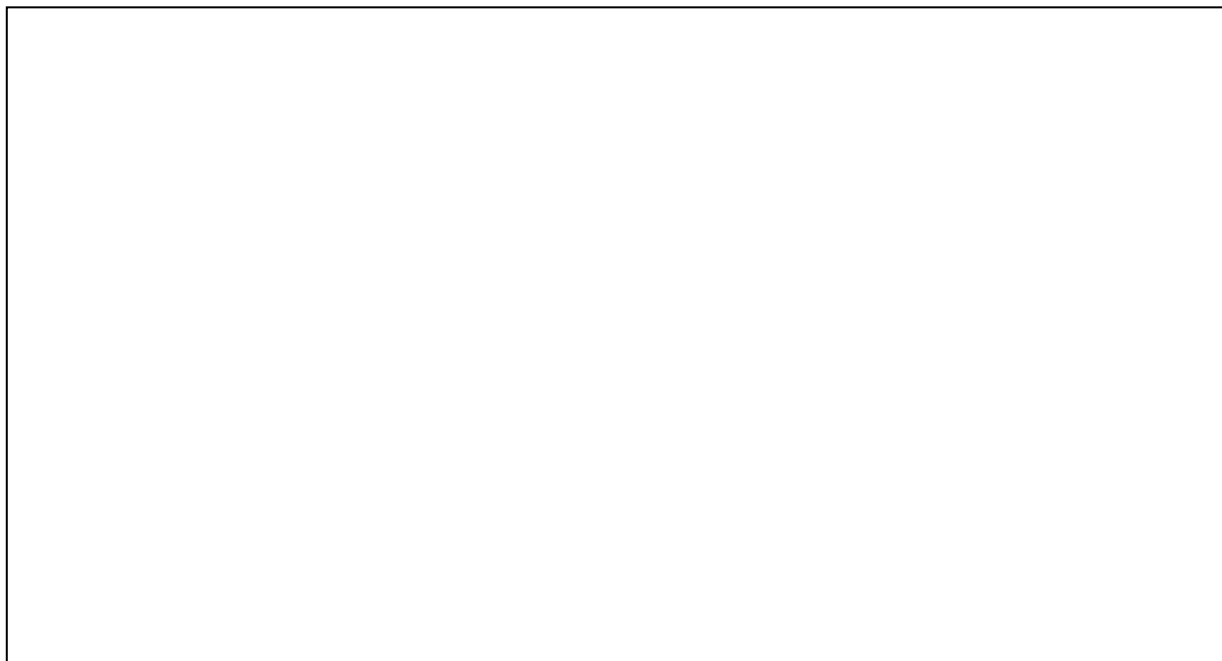
基本的な方向 7 人材の確保・育成としなやかな組織づくり

- ⑬ 教員1か月あたりの平均時間外勤務時間を月45時間以下とする。 $R7=28h04m$ (2月)
 $R7$ 小学校平均=22h10m (2月)

基本的な方向 8 生涯学習の支援

- ⑭ 令和8年度の小学校学力経年調査における「読書は好きですか。」に対して肯定的に回答する児童の割合を76%以上にする。 $R7=75.9$

3 本年度の自己評価結果の総括



大阪市立中野小学校 令和8年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準	A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
	C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【最重要目標1 安全・安心な教育の推進】</p> <p>基本的な方向1 安全安心な教育の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和8年度の小学校学力経年調査における「困りごとや、不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談することができますか。」に対して肯定的に回答する児童の割合を65%以上にする。 $R7=63.4$ 年度末の校内調査において、不登校児童の割合を前年度より減少させる。 年度末の校内調査において、前年度不登校の児童の改善の割合を増加させる。 <p>基本的な方向2 豊かな心の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和8年度の小学校学力経年調査における「自分にはよいところがありますか。」に対して肯定的に回答する児童の割合を84%以上にする。 $R7=83.6$ 令和8年度の小学校学力経年調査における「いろいろな国や地域の文化や言葉の違いを大切にし、困ったことや問題を解決するなどして、つながりを深めることができますか。」に対して肯定的に回答する児童の割合を84%以上にする。 $R7=83.5$ 	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【基本的な方向1 安全安心な教育の推進】</p> <p>心の天気やコメント欄、相談機能等を使って児童が先生や学校にいる大人に相談しやすい機会を増やす。</p> <hr/> <p>指標 令和8年度の小学校学力経年調査における「困りごとや、不安がある時に先生や学校にいる大人にいつでも相談することができますか。」に対して肯定的に回答する児童の割合を65%以上にする。 $R7=63.4$</p>	
<p>取組内容②【基本的な方向2、豊かな心の育成】</p> <p>友だちと協力して成し遂げる体験活動（異学年交流など）の機会を多くもつことによって自信をもち、自分のよさを発揮できる子どもを育てる。</p> <hr/> <p>指標 令和8年度の小学校学力経年調査における「自分にはよいところがありますか。」に対して肯定的に回答する児童の割合を84%以上にする。 $R7=83.6$</p>	
<p>取組内容③【基本的な方向2、豊かな心育成】</p> <p>国際クラブの活動やいろいろな国や地域の文化を知り、つながりを深める活動を通して、多様な価値観や文化をもつ子ども同士が互いの違いを認め合い、高め合える教育を推進する。</p> <hr/> <p>指標 令和8年度の小学校学力経年調査における「いろいろな国や地域の文化や言葉の違いを大切にし、困ったことや問題を解決するなどして、つながりを深めることができますか。」に対して肯定的に回答する児童の割合を84%以上にする。 $R7=83.5$</p>	

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
次年度への改善点	

評価基準	A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
	C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組まず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【最重要目標 2 未来を切り拓く学力・体力の向上】</p> <p>基本的な方向 4 誰一人取り残さない学力の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和8年度の小学校学力経年調査における国語の学力に課題の見られる児童の割合を、前年度より1ポイント減少させる。 R7=19.1 令和8年度の小学校学力経年調査における「学級の友だちとの間で話し合う活動を通して、自分の考えを深めたり、新たな考えに気づいたりすることができていますか。」に対して肯定的に回答する児童の割合を77%以上にする。 R7=76.9 令和8年度の小学校学力経年調査における「理科の勉強は好きですか。」に対して肯定的に回答する児童の割合を87%以上にする。 R7=86.7 令和8年度の小学校学力経年調査における「外国語の勉強は好きですか。」に対して肯定的に回答する児童の割合を87%以上にする。 R7=86 <p>基本的な方向 5 健やかな体の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和8年度の小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか。」に対して肯定的に回答する児童の割合を85%以上にする。 R7=83.6 新体力テストの長座体前屈を全学年、年3回実施し前回よりも記録を上回る。 	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容① 【基本的な方向 4 誰一人取り残さない学力の向上】</p> <p>実態把握をし、基礎基本の反復練習や発展学習ができるよう自主学習を全学年で取り組み学び方を身に着けさせる。</p> <hr/> <p>指標 令和8年度の小学校学力経年調査における国語の学力に課題の見られる児童の割合を、前年度より1ポイント減少させる。 R7=19.1</p>	
<p>取組内容② 【基本的な方向 4 誰一人取り残さない学力の向上】</p> <p>授業の中で、必ずペアトークや小グループでの話し合いの場を設定し、自分の考えをまとめて書いたり、発表ボードを使って発表したりして学びを深めあう。</p> <hr/> <p>指標 令和8年度の小学校学力経年調査における「学級の友だちとの間で話し合う活動を通して、自分の考えを深めたり、新たな考えに気づいたりすることができていますか。」に対して肯定的に回答する児童の割合を77%以上にする。 R7=76.9</p>	
<p>取組内容③ 【基本的な方向 4 誰一人取り残さない学力向上】</p> <p>観察や実験を通して、生き物や化学に対する興味を持てるように、理科好きな子を育てる。</p> <hr/> <p>指標 令和8年度の小学校学力経年調査における「理科の勉強は好きですか。」に対して肯定的に回答する児童の割合を87%以上にする。 R7=86.7</p>	

<p>取組内容④【基本的な方向4 誰一人取り残さない学力向上】</p> <p>朝の外国語活動の充実・時間の確保、授業の中でコミュニケーションが取れる活動を必ず取り入れ、話すことに慣れさせる。</p>	
<p>指標</p> <p>令和8年度の小学校学力経年調査における「外国語の勉強は好きですか。」に対して肯定的に回答する児童の割合を87%以上にする。R7=86</p>	
<p>取組内容⑤【基本的な方向5 健やかな体の育成】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体力向上に向けて体育科の授業や外遊びの工夫・改善を行う。 ・委員会活動の取り組みを通して年間運動をする機会を計画的に設ける。 	
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和8年度の小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか。」に対して肯定的に回答する児童の割合を85%以上にする。R7=83.6 ・新体力テストの上体おこしを全学年、年3回実施し前回よりも記録を上回る。 	
<p>年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析</p>	
<p>次年度への改善点</p>	

評価基準	A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
	C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【最重要目標3 学びを支える教育環境の充実】</p> <p>基本的な方向6 教育DXの推進 令和8年度の小学校学力経年調査における「授業で学習用端末をどの程度使用しましたか。」に対して週3回以上と肯定的に回答する児童の割合を50%以上にする。</p> <p>基本的な方向7 人材の確保・育成としなやかな組織づくり 教員1か月あたりの平均時間外勤務時間を月45時間以下とする。</p> <p>基本的な方向8 生涯学習の支援 令和8年度の小学校学力経年調査における「読書は好きですか。」に対して肯定的に回答する児童の割合を76%以上にする。</p>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【基本的な方向6 教育DXの推進】 デジタル教科書やタブレット等 ICT を授業の中で多く取り入れ、観察したことや調べたこと等をまとめて発表できるようにする。 デジタルドリルやタイピング練習などを授業時間に取り入れる。</p> <hr/> <p>指標 令和8年度の小学校学力経年調査における「授業で学習用端末をどの程度使用しましたか。」に対して週3回以上と肯定的に回答する児童の割合を50%以上にする。</p>	
<p>取組内容②【基本的な方向7 人材の確保・育成としなやかな組織づくり】 毎週1回は、ゆとりの日を設定し、午後6時全員退勤をめざす。</p> <hr/> <p>指標 教員1か月あたりの平均時間外勤務時間を月45時間以下とする。</p>	
<p>取組内容③【生涯学習の支援】 本をいつも読めるようにし、図書館開放や、読み聞かせ、本の紹介、読みたい本のランキングなど子どもたちが本に興味を持てるような活動を工夫する。</p> <hr/> <p>指標 令和8年度の小学校学力経年調査における「読書は好きですか。」に対して肯定的に回答する児童の割合を76%以上にする。R7=75.9</p>	

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
次年度への改善点	